

陳情第27号
陳情書

陳情者 ●●●●●●●●●●●●●●●●
湯 淺 忠 雄

柿本元気議員がＳＮＳでへずまりゅう議員に対しパワハラをしている件と奈良市民に対し侮辱発言をした事実について。

柿本議員は1979年生まれで、へずまりゅう議員より一回り年上です。新人議員として市政に取り組む若い同僚に対し、SNS上で「へずまごとき」などの表現を使い、批判を続けている行為は、年齢・経験の差を利用したパワーハラスメントと受け止められます。

特に問題なのは、「お茄子」発言です。2025年9月頃、へずまりゅう議員に投票した奈良市民約8,000人を「お茄子」（関西弁でアホ・馬鹿の意）と公然と侮辱する投稿をXやnoteで行いました。これに対し、「別にきゅうりでもピーマンでも夏野菜ならなんでも」とフォローしたことも、市民感情をさらに傷つけています。

これは単なる「政治的意見の相違」を超え、投票した市民全体を愚弄する行為であり、議員として極めて不適切です。既に他の市民から同様の陳情が出されていることから、広く問題視されています。

また、柿本議員は同和問題や人権・差別・いじめに取り組む姿勢をこれまで示してこられたはずです。しかし、自分より年下の議員を執拗に追いかけて、SNSでさらすような行為は、まさに「いじめ」と紙一重です。「子どもたちに恥ずかしくない大人でありたい」と公言されるのであれば、まずは御自身の言動を厳しく律していただきたいと思います。

最近の柿本議員の発言（へずまりゅう議員やその支持者に対する繰り返しのやゆ、議会内外での対立をあおるような投稿）も、奈良市政の品位を低下させ、市民の不信を招いています。議員同士が足を引っ張り合う姿は、市民にとって迷惑でしかありません。

- ・「お茄子」発言を含む一連の市民侮辱的発言について、奈良市議会及び市民に対する正式謝罪を速やかに行うこと。
- ・へずまりゅう議員に対するＳＮＳでの過剰な個人攻撃を即時停止し、政策中心の建設的な議論に切り替えること。

- ・議員倫理・人権尊重の観点から、自らを律する姿勢を示すこと（必要に応じて議会での陳謝や第三者による指導も検討）。

柿本議員が本当に「恥ずかしくない大人」として、奈良市民の代表にふさわしい行動を取られることを期待します。御対応がない場合、さらなる市民の声や議会への働きかけを検討せざるを得ません。

何卒、真摯に御検討いただきますようお願い申し上げます。